

平成 17 年 12 月 26 日

中国でドラッグストア流通に参入

輸出入権並びに卸売販売権を持つ 100%出資子会社も設立

株式会社カネボウ化粧品

当社は、この度、中華人民共和国（中国）において、従来から展開している百貨店流通に加え、化粧品に「健康志向」「敏感肌対応」「肌悩みに対応」といった側面を求める消費者ニーズに対応し、成長著しいドラッグストア流通に新規参入いたします。

その第一弾として専用ブランド「フリープラス」を導入、明日 12 月 27 日上海での 1 号店オープンを皮切りに、華東地区・華北地区・華南地区を中心とする全国のドラッグストアに今後順次拡大、3 年後には取扱店 350 店、店頭売上 45 億円を目指します。

また当社は、この度、輸出入権及び卸売販売権を持つ 100%出資子会社「佳麗宝化粧品（中国）有限公司」を設立いたしました。

今後、「佳麗宝化粧品（中国）有限公司」を通じて、中国のドラッグストア流通におけるビジネスを確立させるとともに、中国・百貨店向け輸入品並びに中国国内生産ブランド「AQUA」の販売も同社に一元集約し、中国ビジネスにおける効率化を図り、最重要エリアとして位置付けている中国での事業展開を加速してまいります。

カネボウ化粧品の中国での事業展開

当社の中国事業の歴史は、1987 年に中国の化粧品トップメーカーと技術協力契約を締結したのが始まりです。以降、1992 年に中国専用ブランドを現地で製造・販売、1995 年に、「上海カネボウ化粧品有限公司」を設立、更に、2000 年には上海に化粧品工場を設立し、中国専用ブランド「AQUA」を百貨店流通約 200 店にて展開しています。

中国の化粧品事情

中国の化粧品市場規模は、世界でも類を見ないほどの急成長を遂げており、近い将来日本の市場規模 1 兆 4,221 億円（2004 年・経済産業省出荷統計）に肩を並べると予想されています。流通チャネルは、当社も参入している百貨店流通が全体の約 7 割を占めていますが、外資参入障壁の緩和、中国女性の化粧への関心の高まりなどにより、流通の広がりが進みつつあります。特にドラッグストアについては、健康イメージや肌悩みに関する具体的効果を求める消費者から高く評価されていることや、百貨店よりも幅広い顧客層をカバーしていることから、化粧品を販売する環境が今後より整備されることによって、化粧品購入チャネルとして選択される可能性は、益々高まると考えられています。新会社が第一弾として参入するスキンケア市場もドラッグストアでの伸長が最も高いと予想しています。2003 年のスキンケア市場におけるドラッグストアの構成比は約 1%でしたが、2010 年には約 10%の構成比を期待しています。

導入ブランド「フリープラス」並びに新会社の概要は下記の通りです。

記

「フリープラス」の概要

1. コンセプト 優しく安全に肌の内側から働きかけ、キメの細かい絹素肌を実現するシリーズ
2. 発売商品 11 品目 14 品種
3. 価格帯 68 元～270 元
4. 販売形態 専用カウンターにおけるカウンセリング販売
5. 販促策 雑誌広告・ホームページ開設・サンプリング等
6. 売上計画 1 年目：4 億円（店舗数 130 店）
<店頭ベース> 3 年目：45 億円（店舗数 350 店）
7. 「フリープラス」の日本での状況

2001 年に敏感肌に悩む女性に向けて発売。肌の刺激となりうる成分が無添加（＝フリー）の優しい使い心地に加え、6 種の和漢植物エキス配合でうるおいあふれる肌へと導く効果を持つ（＝プラス）、スキンケア&ベースメイクシリーズとして誕生した。

2005 年 1 月には、様々なトラブルが「日替わり」で現れるという“繊細肌”対応のブランドとしてリニューアル発売。それに伴い販売拠点もドラッグストアを中心に大幅に拡大し、宣伝展開・販促施策も強化。現在、取扱店約 8,300 店。2005 年 1～9 月の実績が前年の 3 倍強という高伸長ブランド。

「佳麗宝化粧品（中国）有限公司」の概要

1. 社名 佳麗宝化粧品（中国）有限公司
2. 所在地 中国上海市静安区陝西北路 66 号 科恩国際中心 12F
3. 設立 平成 17 年 11 月 10 日
4. 資本金 12 億円（株カネボウ化粧品 100% 出資）
5. 役員 董事長：岩間孝夫、総経理：垣見匡史

以 上